

令和 6 年度事業実績報告（案）

（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日）

【総会等開催事業】	令和 6 年 6 月 5 日に総会、第 1 回理事会を開催 令和 7 年 2 月 1 8 日に第 2 回理事会を開催
【講演会開催事業】	2 回開催
【研修助成事業】	3 4 社に 7 4 万円助成（7 4 人分）
【会員異業種交流会事業】	4 回参加
【情報交流事業】	3 回開催
【実践研修事業】	2 回開催
【広報活動事業】	ニューズレター 2 7 回（通算第 6 8 1 号）
【共催・協賛実績】	共催 3 回、協賛 1 回



6月5日 総会



6月5日 総会記念講演会



8月29日 情報交流事業（第 1 回）



12月3日 実践研修事業（第 1 回）

●令和 6 年 6 月 5 日 (水) 13:30～14:30 理事会	「令和 6 年度第 1 回理事会」開催 (ホテルグランヴェール岐山) 【議案】 18人参加 (23人中) ☐ 令和 5 年度事業実績報告 (案) について ☐ 令和 5 年度収支決算書 (案) について ☐ 令和 6 年度事業計画 (案) について ☐ 令和 6 年度収支予算書 (案) について ☐ 役員 (案) について 上記案件について 出席役員全員の賛成を得て可決承認
15:00～15:45 総会	「令和 6 年度総会」開催 (同 上) 【議案】 80社参加 (111社中) ☐ 令和 5 年度事業実績報告 (案) について ☐ 令和 5 年度収支決算書 (案) について ☐ 令和 6 年度事業計画 (案) について ☐ 令和 6 年度収支予算書 (案) について ☐ 役員 (案) について 上記案件について 正会員の過半数の賛成を得て可決承認
16:00～17:00 講演会	「令和 6 年度総会記念講演会」開催 (同 上) 【テーマ】「S X (サステナビリティ・トランスフォーメーション) が拓く新たな経済価値」 ～カーボンニュートラル (C N) ×サーキュラー エコノミー (C E) ×D X～ 【講 師】一般社団法人サステナブル経営推進機構 代表理事 壁谷 武久 氏 【概 要】新たな経済価値創造の切り口として、S X (サステナビリティ・トランスフォーメーション) が注目されています。 未来のあるべき姿をもとにバックキャスト。社会課題解決を企業の新たな価値として長期的な視野でとらえる視点についてお話をされました。 【参加者】約 8 0 人

● 6月19日（水） 12:30～16:30	JNB関連事業参加 「第13回定時総会」ほか 【会 場】 ホテル雅叙園東京 (東京都目黒区下目黒1-8-1) 【第13回定時総会】 【全国会長会議】 【記念講演】 マクニカホールディングス株式会社 名誉会長 神山 治貴 氏 【参加者】 276人
● 8月29日（木） 13:30～15:30	情報交流事業開催（第1回） 「トヨタL & F 中部株式会社白金オフィス視察会」 【会 場】 トヨタL & F 中部株式会社白金オフィス (名古屋市昭和区白金3-7-12) 【概 要】 フォークリフトでは世界トップのトヨタL & Fが蓄積した危険予知や在庫管理を学びました。 そして、KY道場では、管理者として、再発防止ではなく、未然防止のための課題に取り組みました。 また、在庫管理では、人手不足の中、どうしたら省人化できるのか、中小企業でできるアドバイスをいただきました。 【参加者】 5人
● 10月9日（水） 13:30～15:30	情報交流事業開催（第2回） 「リコーエレメックス（株）恵那事業所工場見学会」 【会 場】 リコーエレメックス株式会社恵那事業所 (恵那市長島町中野1218-2) 【概 要】 エンゲージメント向上のため、すべての働き手に情報が必ず届くよう、多言語対応のデジタルサイネージやソリューションを活用していました。 また、背伸びをしないデジタル化を進め、製品の自動画像検査装置や3Dプリンターを活用した治具の内製をし、小ロット多品種のものづくりを実践していました。 【参加者】 18人（うち協議会会員12人） 【共 催】 岐阜県DX推進コンソーシアム

● 11月7日（木） 11:00～17:00	JNB関連事業参加 「第20回新事業創出全国フォーラムinNIIGATA2024」ほか 【会 場】 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟市中央区万代橋6-1) 【全国会長会議】 【基調講演】「日本の食に革命を！」 オイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役 高島 宏平 氏 【パネルディカッション】 「地域におけるスポーツビジネスと地方創生」 池田 弘 JNB会長 井川 幸広 東京NBC会長 若林 順平 21世紀NBC会長 高島 宏平 氏 【参加者】 713人
● 11月23日（土） 12:00～17:00 11月24日（日） 10:00～16:00	異業種交流事業参加 「Ogaki Mini Maker Faire 2024」 【主 催】 Ogaki Mini Maker Faire 2024 実行委員会 同実行委員会顧問 ぎふIT・ものづくり協議会会長 豊田 良則 【会 場】 ソフトピアジャパンセンタービル (大垣市加賀野4-1-7) 【概 要】 電子工作、ロボティクス、クラフト、ペーパークラフト、電子楽器、サイエンス、リサイクル／アップサイクルなどのづくり手「Maker」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、その楽しさが伝播していくメイカームーブメントの祭典でした。 【参加者】 5,070人 (出展者 116組)

● 11月26日（火） 14:00～17:00	CNB関連事業参加 「ニュービジネスフェア2024」 【会 場】 S T A T I O N A i (名古屋市昭和区鶴舞1-2-32) 【概 要】 未来を創るスタートアップ企業である優秀賞5社による プレゼンテーションが行われ、その場で投票を実施。 その結果、細胞培養での目利きに着目した (株) Quastellaが大賞を受賞しました。 【特別講演】 「スタートアップエコシステムの潮流」 株式会社ウィズグループ 代表取締役 奥田 浩美 氏 【参加者】 約200人
● 12月3日（火） 9:30～16:30	実践研修事業開催（第1回） 「ノーコードツールで社内用AIツールを作ろう」 【会 場】 テクノプラザものづくり支援センター第一別館 2階 第6研修室 (各務原市テクノプラザ1-21) 【講 師】 株式会社インテックス 中西 夏基 氏 【概 要】 業務の効率化やDXの実現を目指すため、画像認識AI と社内AIチャットボットの作成に焦点を当て、AIを 活用した業務アプリケーションの開発の流れを学習しま した。 【参加者】 9人 【協 力】 株式会社ブイ・アール・テクノセンター

●令和 7 年 1 月 2 2 日（水） 13:30～15:30	情報交流事業開催（第 3 回） 「（株）ソリノ 3D プリンタと副業人材で DX」 【会 場】株式会社ソリノ （安八郡神戸町神戸1189-3） 【概 要】小ロット・低価格・短納期を実現するため、様々な種類の 3D プリンタが稼働しており、特に複数台の金属プリンタの活用に特徴がありました。 3D プリンタの可能性や実用性について理解を深めることができ、また、それらを支える人材（副業人材）の確保について、話を聴きました。 【参加者】15 人（うち協議会会員 10 人） 【共 催】岐阜県 DX 推進コンソーシアム
●1 月 2 2 日（水） 15:00～17:00 （講義） 2 月 1 3 日（木） 15:00～17:00 （試験）	実践研修事業開催（第 2 回） 「カーボンニュートラルを知ろう」 ～カーボンニュートラル・アドバイザー ベーシック資格試験～ 【概 要】気候変動対策の切り札としてのカーボンニュートラルの基礎を理解するため、資格試験に挑戦しました。 1 時間 30 分の講義をオンラインで聴講し、自主学習の後に、オンラインで 1 時間の試験を受験しました。 【参加者】18 人 【協 力】一般社団法人ぎふ脱炭素社会推進コンソーシアム 一般社団法人日本カーボンニュートラル協会
●2 月 1 8 日（火） 11:00～13:00	「令和 6 年度第 2 回理事会」開催（都ホテル岐阜長良川） 【議題】14 人参加（23 人中） ☐ 令和 6 年度事業実績報告（案） ☐ 令和 6 年度収支中間報告 ☐ 令和 6 年度会員の入退会状況 ☐ 令和 7 年度事業計画（骨子案） 上記議題について 出席役員全員の下承を得た。

● 3月4日（火） 13:30～15:00	「D X講演会」開催（講演会第2回） 【テーマ】 「若手経営者が切り拓く中小企業の未来」 ～社内D Xで目指す社員年収7 0 0万円への道～ 【会 場】 ソフトピアジャパンセンタービル 1 0階 特別会議室 （オンライン併用） 【講 師】 三共電機株式会社 代表取締役 三橋 進 氏 【概 要】 「社員年収7 0 0万円」の目標を掲げ、自らデジタル化を主導、約9割の社内業務を自動化するなど社内D Xを推進している三橋氏を招き、その成果を話していただくとともに、中小ものづくり企業の未来像を紹介いただいた。 【参加者】 7 9人（うち協議会会員2 2人） 【共 催】 公益財団法人ソフトピアジャパン、岐阜県DX推進コンソーシアム
----------------------------------	---

●研修助成金	3 4 社に 7 4 万円助成（7 4 人分） うち 公益財団法人ソフトピアジャパンが実施する 「ソフトピアジャパンDX・IT研修」及び「オーダーメイド実践研修」 2 2 社 4 6 万円（4 6 人分） うち 株式会社ブイ・アール・テクノセンターが実施する 「テクノプラザイノベーション研修」 1 2 社 2 8 万円（2 8 人分）
●ニューズレター 配信サービス等	配信数 8 7 8 内訳 会員 1 4 7 企業・団体・個人 5 1 7 県・市町村・関連機関 2 1 4 2 7 回配信（通算第 6 8 1 号） ホームページでの広報 https://gifu-itmonodukuri.jp/
●会員数	・正会員 1 0 5（2 増 8 減） ・賛助会員等 2 0 団体（増減なし）

議案 2

令和6年度収支決算書(案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 額	差 引 額	備 考
会費収入	3,330,000	3,187,500	△ 142,500	年会費：30,000×105社 + 22,500×1社 + 15,000×1社
研修等事業収入	20,000	0	△ 20,000	
雑収入	854	1,667	813	預金利息
前年度繰越金	2,233,146	2,233,146	0	
合計 (A)	5,584,000	5,422,313	△ 161,687	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	支 出 額	差 引 額	備 考
管理費	936,000	677,822	258,178	
一般管理費	936,000	677,822	258,178	事務局運営費（事務委託料ほか）
事業費	4,458,000	2,880,647	1,577,353	
総会等開催事業	760,000	546,737	213,263	総会、理事会ほか
講演会開催事業	400,000	220,736	179,264	総会記念講演会ほか
研修助成事業	1,000,000	740,000	260,000	研修受講費助成
会員異業種交流会事業	428,000	365,200	62,800	JNB負担金ほか
情報交流事業	150,000	16,104	133,896	先進事例調査3回
実践研修事業	1,600,000	946,220	653,780	実践研修2回
連携事業	50,000	0	50,000	
広報活動事業	70,000	45,650	24,350	協議会広報（サーバ維持管理）
予備費	190,000	0	190,000	
合計 (B)	5,584,000	3,558,469	2,025,531	

(単位：円)

収支差額(C)：(A)－(B)		1,863,844		
次年度繰越金		1,863,844		

監 査 報 告 書

ぎふ IT・ものづくり協議会規約第11条第7項の規定により、令和6年度事業実績報告及び収支決算書について監査した結果、適正に処理されていると認められましたので、報告します。

令和 7 年 4 月 1 7 日

監 事 稲 葉 誠 司

令和 7 年 4 月 1 6 日

監 事 松 原 正 隆

監査報告書の原本掲載は、本人の直筆が明確に判断できることから、個人情報保護のため氏名は印字したものを掲載させていただきます。

議案 3

ぎふ IT・ものづくり協議会規約の一部変更（案）

ぎふ IT・ものづくり協議会規約第 20 条から第 22 条までの規定に基づき、ぎふ IT・ものづくり協議会規約の一部を別紙のとおり変更する。

ぎふIT・ものづくり協議会規約 新旧対照表

新	旧
第1条 略 (目的) 第2条 <u>協議会は、中核的なIT拠点である「ソフトピアジャパン」とものづくり産業の総合支援拠点である「テクノプラザ」の協力体制の下、新しい技術、高度な技術を活用した産業の発展に役立つ情報や技術の提供、人材育成、関係機関との交流機会を設営すること等により、企業経営の革新、経営体質の強化及び地域社会の活性化に貢献するとともに、岐阜県行政に係る政策等の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画等の実現に資することを目的とする。</u> (事業) 第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) <u>DX、AI、ロボット、SDGs、GX、働き方等(以下「DX等」)に係る研修機会の提供、講演会・セミナーの開催</u> (2) <u>DX等に係る研修受講への助成</u> (3) <u>異業種との交流機会の提供、DX等に係る先進事例の紹介</u> (4) <u>前各号に掲げるもののほか、必要な事業</u> (会員) 第4条 協議会の会員は、次のとおりとする。 (1) 正会員 企業、事業協同組合、協業組合等の団体又は、個人であって協議会の目的に賛同して入会する者 (2) 賛助会員 大学、試験研究機関、経済団体、<u>地方公共団体等の団体又は学識経験者</u> 第5条から第23条まで 略 附 則 <u>この規約は、令和7年の総会の日(令和7年6月5日)から施行する。</u>	第1条 略 (目的) 第2条 <u>中部圏のIT拠点である「ソフトピアジャパン」及びITを活用したものづくり拠点である「テクノプラザ」との協力体制を構築し、IT、VR、ナノテク、新素材、ロボット、航空宇宙分野等への新しい技術、高度な技術を活用した産業の発展及び推進に役立つ情報や技術の提供、人材育成、<u>学術研究機関との交流を行うことにより企業経営の革新、経営体質の強化及び地域社会の活性化に貢献するとともに「岐阜県長期構想」に寄与することを目的とする。</u></u> (事業) 第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) <u>IT(情報通信技術)、VR(バーチャルリアリティ)、ナノテクノロジー、新素材、ロボット、航空宇宙技術等を活用した企業の競争力向上</u> (2) <u>ソフトピアジャパン及びテクノプラザと連携した企業の支援</u> (3) <u>海外におけるビジネス展開の支援</u> (4) <u>「岐阜県長期構想」への協力</u> (5) <u>前4号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な各種事業</u> (会員) 第4条 協議会の会員は、次のとおりとする。 (1) 正会員 企業、事業協同組合、協業組合等の団体又は、個人であって協議会の目的に賛同して入会する者 (2) 賛助会員 大学、<u>試験研究機関等学術研究団体、地方公共団体及び学識経験者</u> 第5条から第23条まで 略 (追加)

令和7年度事業計画（案）

1 総会等開催事業

会員企業の出席、関係者列席のもと、本協議会の総会を開催し、令和7年度事業計画及び令和7年度予算等の決定を行う。

また、必要に応じ理事会を開催し、岐阜県、ソフトピアジャパン、テクノプラザ等の関係者との意見交換を行うとともに、本協議会の個々具体的な事業について方針を決定する。

開催日（第1回理事会・総会） 6月5日（木）

2 講演会開催事業

会員企業の業績向上に役立つテーマ、ビジネスに直結するテーマを選定し、講演会・セミナーを開催する。（年2回程度（総会後の講演会、協力団体等の共催含む。））

（案1）「人材多様化時代の経営戦略」

講師：高野 美代恵 氏

オフィスME 社会保険労務士事務所 代表

（一社）日本ワーク＆ライフエンゲイジメント協会 代表理事

健康投資推進協議会理事

（案2）DX、生成AIに関連するテーマ

3 研修助成事業

次の有料研修の受講に対し助成を行う。

○公益財団法人ソフトピアジャパンが実施する「DX・IT研修」及び「オーダーメイド実践研修」

○株式会社ブイ・アール・テクノセンターが実施する「テクノプラザ イノベーション研修」
[助成の概要]

・受講者1名につき1講座10,000円（受講料が1万円以上の研修のみを対象とする）

・1会員あたり 1講座 2名まで

・1会員あたり 年間のべ3名まで

※ただし、該当年度の納入会費額を上限とする。

4 会員異業種交流会事業

JNB、CNBとの交流・連携の機会を積極的に活用し会員相互のビジネス交流の場を提供するなど企業交流の促進を図る。 ※JNB：日本ニュービジネス協議会連合会、CNB：中部ニュービジネス協議会

5 新商品・新サービス創出事業

会員相互の連携を促し、会員企業の新商品・新サービス創出を支援する。

6 情報交流事業

重点事業

先進的な取り組みを実施する企業や施設の視察等を企画、実施する。

遠距離の企業や施設の視察等を企画、実施する場合は、借り上げバスの利用を検討する。

なお、5月23日（金）には、シンクレイヤ（株）の「SYNC Labo（シンクラボ）」（名古屋市中区）と「STATION Ai」（名古屋市昭和区）を視察した。

7 実践研修事業

DX推進のためのAIの活用やイノベーション創出に関する人材育成研修、製造現場に直結した設計技術、カイゼンの研修等を若手技術者・開発者・企画担当者を対象に開催する。

（研修案）AIを活用した新しいものづくり、DX・GXを推進するための人材育成等

8 連携事業

IT拠点の「ソフトピアジャパンエリア」、ものづくり拠点の「テクノプラザエリア」の両拠点を活用したセミナー、勉強会等を他の関連機関と連携して開催する。

9 広報活動事業

本協議会の広報を引き続き行うとともに、ホームページの充実・ニューズレターの定期的な配信を通して、会員企業等への最新情報の提供を実施する。

令和 7 年度収支予算書（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（収入の部）

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 額	備 考
会費収入	3,150,000	3,330,000	△ 180,000	年会費：30,000×105社
研修等事業収入	20,000	20,000	0	
雑収入	2,156	854	1,302	預金利息
前年度繰越金	1,863,844	2,233,146	△ 369,302	
合計	5,036,000	5,584,000	△ 548,000	

（支出の部）

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 額	備 考
管理費	882,000	936,000	△ 54,000	
一般管理費	882,000	936,000	△ 54,000	事務局運営費（事務委託料ほか）
事業費	4,050,000	4,458,000	△ 408,000	
総会等開催事業	750,000	760,000	△ 10,000	総会、理事会ほか
講演会開催事業	370,000	400,000	△ 30,000	総会記念講演会ほか
研修助成事業	1,000,000	1,000,000	0	研修受講費助成
会員異業種 交流会事業	480,000	428,000	52,000	JNB負担金ほか
情報交流事業	230,000	150,000	80,000	先進事例調査 4 回
実践研修事業	1,050,000	1,600,000	△ 550,000	実践研修 2 回
連携事業	50,000	50,000	0	
広報活動事業	120,000	70,000	50,000	協議会広報（サーバ維持管理）
予備費	104,000	190,000	△ 86,000	
翌年度 当初運用費	0	0	0	
合計	5,036,000	5,584,000	△ 548,000	

なお、科目ごとの予算に不足が生じた場合は、科目間の流用を認めることとする。

議案 6

役員交代・新任（案）

【顧問】

新任 顧問 江崎 禎英（岐阜県知事）
（規約第12条ただし書に定める期間： 令和8年総会まで）

退任 顧問 古田 肇（岐阜県知事）

【理事】

新任 理事 奥田 勝彦（株式会社電算システム取締役執行役員）
（規約第12条ただし書に定める期間： 令和8年総会まで）

退任 理事 杉山 正裕（株式会社電算システム顧問）

【理事】

新任 理事 越山 雄（川崎重工業株式会社航空宇宙システムカン
パニー 企画本部長 執行役員）
（規約第12条ただし書に定める期間： 令和8年総会まで）

退任 理事 岸 泰宏（川崎重工業株式会社航空宇宙システムカン
パニー 企画本部長 執行役員）

【理事】

新任 理事 後藤 勝利（株式会社大垣共立銀行常務執行役員）
（規約第12条ただし書に定める期間： 令和8年総会まで）

退任 理事 土屋 諭（株式会社大垣共立銀行常務取締役）

役員一覧 (理事：50 音順)

(任期：令和 8 年総会まで)

顧問	江崎 禎英	(岐阜県知事)	新任
顧問	村瀬 幸雄	(岐阜県商工会議所連合会会長)	
顧問	辻 正	(株式会社インフォファーム相談役)	
会長	豊田 良則	(一般社団法人岐阜みらいポータル協会会長)	
理事	遠藤 宏治	(カイインダストリーズ株式会社代表取締役会長)	
理事	大松 利幸	(岐阜プラスチック工業株式会社代表取締役会長)	
理事	岡本 知彦	(株式会社ナベヤ代表取締役社長)	
理事	小川 信也	(太平洋工業株式会社代表取締役会長)	
理事	奥田 勝彦	(株式会社電算システム取締役執行役員)	新任
理事	川島 政樹	(カワボウ株式会社代表取締役社長)	
理事	桑原 英広	(岐阜車体工業株式会社取締役・専務役員)	
理事	光崎 修	(岐阜信用金庫専務理事)	
理事	越山 雄	(川崎重工業株式会社航空宇宙システムカンパニー企画本部長 執行役員)	
		新任	
理事	後藤 勝利	(株式会社大垣共立銀行常務執行役員)	新任
理事	辻 雅文	(株式会社インフォファーム代表取締役社長)	
理事	所 孝一	(株式会社十六銀行取締役専務執行役員)	
理事	内木 禎	(公益財団法人ソフトピアジャパン副理事長)	
理事	林 壮夫	(株式会社岐阜新聞社専務取締役)	
理事	松本 充博	(株式会社セイノー情報サービス代表取締役社長)	
理事	山口 正裕	(シンクレイヤ株式会社代表取締役社長)	
理事	横山 俊明	(株式会社第一システム代表取締役社長)	
監事	稲葉 誠司	(タック株式会社常務取締役)	
監事	松原 正隆	(株式会社VRテクノセンター代表取締役社長)	